

人生は学習の連続です

大学院経営学研究科長 古 林 輝 久

皆さんもいよいよ卒業ですね。卒業を心から祝福したい気持ちと共に、旅立ち行く子供を見送る親心にも似て、何か言い忘れていたような、一抹の不安と寂しさをも覚えます。ところで、皆さんは16年間の学校生活に一応の終止符を打って、いま<職業人>としての新しい人生の門出に立っているわけです。が、各自それなりの将来に対する抱負なり展望を充分おもちとは思いますが、しかし、「不確実性の時代」という言葉が象徴的に示していますように、変化を常態とする価値多元主義の社会であるだけに、一緒に考えてみましょう。

科学技術の発展は目覚ましく、それは宇宙時代を出現させている程です。わが国も「生産至上主義」のもとに、昭和30年代の高度経済成長を経て、<豊かな社会>への仲間入りをすることになりました。しかし、今日ではそれらを手放して謳歌することはできないようです。小さな惑星にすぎないこの宇宙船「地球号」の中で、いま40億の人類がひしめき合っています。が、21世紀には、60億人に増大するともいわれています。いまでも10億の人びとが食糧不足で困っているそうです。地球に60億の人類を養う能力が果してあるのでしょうか。人口、食糧、資源、環境問題など、いずれも一国を越えた優れてグローバルな問題なのです。それにも拘らず戦後の世界情勢は、米ソを各中心とする東西対立、先進国と開発途上国との南北対立、これらに民族主義や近代化問題が複雑にからまって、今日でも中近東、中越紛争と熱い争いが絶えません。国内的にも、工業化に伴う公害、巨大化する組織や都市化による人間精神の荒廃（疎外）など、量的豊かさの中における質的貧困が不可避免的に拡大化しており、いわゆる管理社会の進行につれて、「人間」そのものへの関心と問いかけが強まってきているように思えます。

かつてK・ポールディングは、現代を「組織革命の時代」と規定しました。彼の指摘のように今日私達の生活は、組織（国家・企業・労組など）を離れては考えられません。皆さんも職業人として、この巨大な分業体系の中に操作可能なものとして恐らく組み込まれることになるでしょう。自分では自由奔放に行動しているつもりでも、実は孫悟空の幻想であったりするので。組織は本来人間生活を豊かにするために形成された手段体系であるはずなのですが、いまでは組織が自己の形成者である人間を手段化し、酷使することになっているということです。W・H・ホワイトは「個人のエネルギーは組織のために与えてもよいが、自分自身を一かけらも与えてはならない。」と忠告していました。しかし、私達日本人は、独自の思考・行動様式のためか、ファウストよろしく自己の魂までも悪魔メフィストフェレスならぬ組織に売り渡しすぎているように思えます。ロッキード、グラマン事件をみましても、それは明らかです。M・プーバーの言うように、「人間とは何か」にさえ答えられないほど、私達は馬鹿な動物であるとしても、また「何のための労働なのか」といまやその根源的問いかけを続けなければならないようです。人生とは学習・トレーニングの連続であり、皆さんの本当の勉強もこれからであることを心に銘記して下さい。

(商学部教授)

ジュネーブの春

文学部講師 富盛 伸夫

春の間近いことを告げる花が日本では紅白の梅ならば、雪の融けはじめたアルプスの高原では、牧草地一面に咲き集う白や薄紫のクロッカスということになる。スイスの南西端にあるジュネーブでは、このクロッカスに続いて本格的な春の訪れを知らせるのが、マロニエの若葉である。旧市街の丘からレマン湖を背にしてボーデ塔の城門をくぐると、マロニエ並木の美しいトレイユ坂にさしかかる。ジュネーブ市内の落葉樹が春になって最初に葉をつけるのはこのマロニエだそうで、毎年地元紙には、待ちに待った春の到来ともいうべきその枝の写真が掲げられるのが通例である。復活祭の前後になると、ふくらんだ新芽をつけた並木の下をどこか落ち着かずにはそぞろ歩きする市民の姿が目につくようになる。

さて、そこから左手の梢どしに見えるのがジュネーブ大学で、創立者のカルバンはじめ宗教改革者の記念碑のあるバスチヨン公園の北半分を占めている。全体はコの字形をして、中央が大教室を容する本館、右が法・経・文の各学部のあるジュラ館、左がジュネーブ州立総合図書館となっている。ここを訪れる人は、七千余名の学生数をもつ大学にしては小じんまりとしているのに驚かされるが、実は大学施設の分散している点では日本で問題にされるタコ足大学の比ではなく、何と少なくとも97本の足がジュネーブ州一帯に拡っていると知り、再びびっくりする。新学年の第1回目の授業の直前には、先生と学生が手分けして教室を探している光景が見られるほどである。もとより不案内な外国人学生は、もうお手上げするしかない。各学科の図書室も又市内各所に分散しているのは当然で、時として、必要な本を探すのにひと苦労ということがあがるが、その度に、周到に整備された目録室のある総合図書館に足を運ぶこ

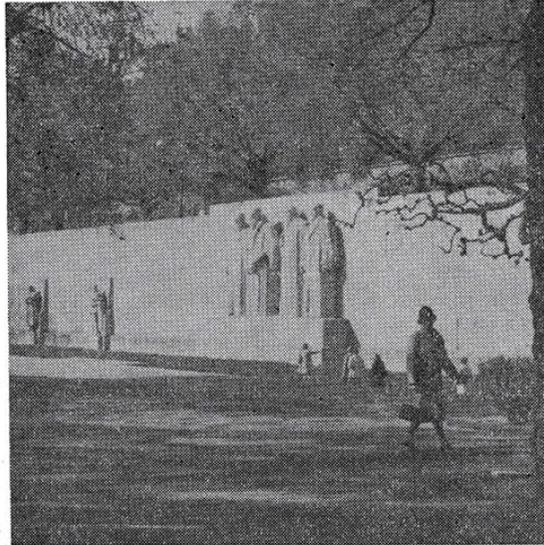
とになる。

図書館に入ると、1階には古代・中世から現代までの写本・手稿を収めた写本室や、ルソー博物館等がある。昨年は丁度没後二百年目にあたっていたので、珍しいデスマスクや遺品などが盛大に展示され、内外からの見学者を集めた。絨緞のしきつめられた館内には廊下や階段などに、ジュネーブ州と大学にゆかりの深かった文人・科学者の胸像や肖像画が飾られており、図書館全体が歴史博物館のようでもある。約80のゆったりした座席を開架式の基礎資料が囲む閲覧室は、2階が入口になっていて、ガラス屋根まで吹き抜けの広々とした空間が気持ちいい。隣接した目録室には一般的な分類目録の他に、数百項目のABC順件名目録があるのが実に役立った。

例えば、十進分類法では探しにくい「笑い」とか「涙」について調べる場合、それぞれのケースを引くと、生理学から文学までにわたる関連文献が一回で引けるという具合である。それでも立往生していると司書の人がやってきて、親切に相談にのってくれるのには嬉しかった。

この図書館の名は、正式には「ジュネーブ州立・大学図書館」といって、公立であると同じに大学附属でもあるから、利用者は圧倒的にジュネーブ大学生が多い。一般の人でも読書・借り出しなどに繁く通う常連もいるようだ。その中でも忘れがたいのは、70歳

はとうに越えたと見られる老人が、ほとんど毎日欠かさず閲覧室の机いっぱい厚い文献を広げて熱心にノートをとっている姿である。貸し出し係の人もその席と必要な書物とは特に配慮して確保してあげていたようで心暖まる思い出であるが、私はその老人を見るたびに、時として弱くなりがちな自分が叱咤される思いであった。窓から入るマロニエの柔らかい新緑の光の中で、あの老人は今日も又机に向っているのだろうか、ふと考えるこの頃である。



ジュネーブ大学のある、バスチヨン公園内
カルバン等の宗教改革記念碑



図書館と私

「図書館と私」という改まった題で原稿の依頼を受けた時、何かの間違ひではないだろうかと思いましたが。なぜなら、借りた本の数が一番多かった人やいつも図書館に通っていた人に依頼するのが当然だと思っていたからです。この私はといえばレポート作成か卒業論文の為ぐらしか図書館で勉強した事はありませんし、実をいうと2年になるまで本の借り方を知らなかったのです。

こんな私が昨年の夏、卒業論文作成の為に図書館を利用するようになって発見したおもしろい事?が二つあります。その一つは、図書館の2階～4階まではとても好意的で夜9時まで開けてくださっているのですが、暗くなると電気スタンドを貸して下さるという事です。ある日偶然、カウンターでスタンドを借りている人に出会い初めて知ったのですが私も一度、スタンドをお借りして勉強してみたいと思っていますのです。そしてもう一つは、いつも3階の部屋で会う男の人の事。その方は麦わら帽子にランニングシャツ、そしてトレパンにぞうりばきという変わったいでたちで、机いっぱいになくさんの本を広げて勉強していらっしゃったのです。その方の風采の奇妙さと勉強心の旺盛さに圧倒されてしまいました。私もあの方のように毎日勉強していたら、さぞかし立派な論文が書けただろうな...なんて思っています。

図書館がいかに有効であるかという事がわかり、これからどんどん利用したいと思った頃にはもう卒業です。「光陰矢のごとし」といいますが本当に四年間なんてあっという間に過ぎてしまいます。後輩の皆さんには、有意義な学生生活を送るためにも、早くから図書館を利用される事をお勧めし、図書館職員の方々には、4年間本当にお世話になりました、という感謝の気持ちを述べて終りにしたいと思います。

商学部商学科四年 森 薫

私が卒業してはや2年過ぎた。時の流れが早いのに驚いている。

さて、私にとって図書館は1年生～3年生までは前期・後期の試験期間中に勉強する場所ではなかった。いわんや、図書館へ行って専門書を読むなんて全くなかった。しかし、4年生になると、卒業論文のテーマの決定等のため専門書を借りるときどき行くようになったが、毎日図書館通いが決定的となったのは、資格取得という一大決心をしたからである。

初めのうちは、机の前に坐っているのが苦痛で図書館の環境に適應するのに苦労した。なぜなら今まで大学に入って自発的に勉強したことがない。うえ、試験の難しさがしみじみとわかってきたからである。現在でも後者は続いているが。そういう時4階のベランダより中庭の松や空を見るのがなによりも気やすめになっている。

ところで、毎日の図書館通いで収穫になったのは良き先輩や同輩を得ることができたことである。その人たちも受験浪人なので、私と同じ立場であり、気持ちが通じ合い、勉強のはげみとなっている。

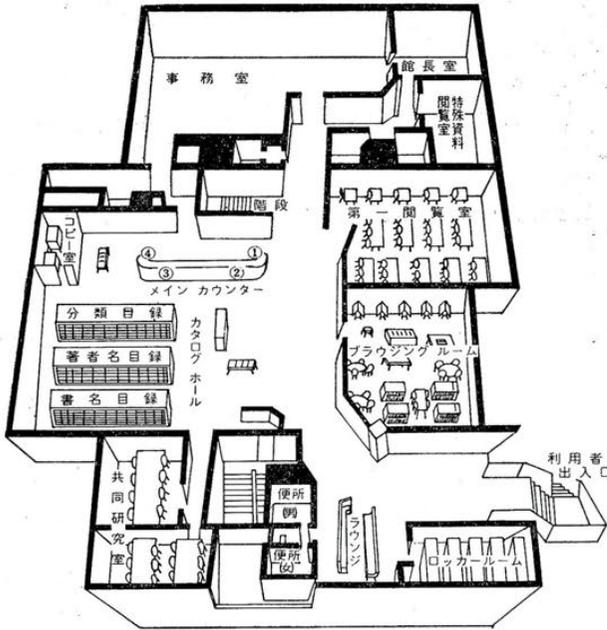
このように、私にとって図書館は人生において最後の受験勉強になるであろう場所として、深い結びつきになったのである。図書館は朝9時より夜9時まで雨の日も晴れの日も風の日も、かすかに見えるゴール(合格)に向かってただひたすらに勉強にいそむ場所であり、私にとって、一生忘れ得ぬものとなるであろう。

77期卒業生 大津 一司

九州産業大学新図書館をたずねて

篠崎 真里

2階の配置図



国道3号線添いに位置する九州産業大学に、このほど、新図書館が完成しました。

ステンドグラスに赤レンガの建物は、ひときわ目をひきます。1階は学生課、2・3階が図書館、4階はL.L.やギャラリーがあり、地下1階は荷解室、機械室等です。

2・3階の図書館のうち2階の配置は図の通りです。注目される点は2階メインカウンターに設置されているコンピュータ(ユーザーック820)です。従来学生が貸出の際、記入していた図書番号、氏名番号を機械が読み取るため、貸出手続きが簡略化できるということです。また、ロッカーは本学でも来年度一部設置予定のリターン方式のコイン・ロッカ

子母沢寛全集 第6.7.8巻

「勝海舟」

講談社 昭和48年

近代日本へと大きく変化をとげた激動の幕末維新時代、男の夢とロマンをかきたてるではありませんか。このコラムを担当するにあたり、この本を選んでみました。

これは、旗本小普請四十俵取りの侍が、激動の世、陸軍総裁七千石の御大身に出世し、戦力的に有力であった幕府主戦論を抑えて政権奉還の初念をつらぬき、西郷隆盛との劇的な江戸城無血明け渡しをやってのけ、国内争乱を回避することによって列強の領土侵略を防いだ「勝海舟」の蘭学を志す頃から、明治新政を迎えるまでを描いた1700ページにおよぶ大河小説です。その内容は、第一巻、黒船渡来、第二巻、咸臨丸渡米、第三巻、長州征伐、第四巻、大政奉還、第五巻、江戸開城、第六巻 明治新政となっています。数年前に松方弘樹主演で「日曜大河ドラマ」として、NHKから放映されたので、ご覧になった人も多いと思います。著者が、東京日日新聞

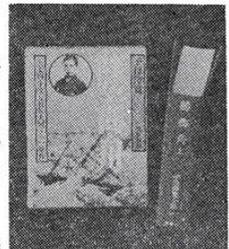
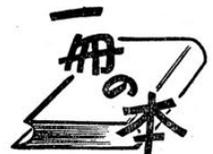
(今の毎日新聞)の記者時代の
大正末年、日曜毎に夜行で京都へ行きその日の夜行で東京へ戻る
といった調子で、幕末維新の史蹟を訪ね、生き残りの古老たちの聞き書きをまとめて発表したのが「新撰組仕末記」であり、本書も海舟の自著である「海舟日記」「氷川清話」を素材にしており、小説とはいえ歴史の陰に隠れた幾多の興味深い事実を知ることができます。また、本書に関連して、当時の江戸下町の風景と人情の機微のなかで、父、勝小吉の生きざまを描いた「おとこ鷹」、勝親子の愛情を描いた「親子鷹」も一読をおすすめいたします。

書物は「知識の泉」です。折に触れて、書物に親しまれることをおすすめいたします。それがあなたにとって、いつの日にか役に立つのですから。

学生課係長 宮下 和義

※この本は図書館に在庫しています。

(分類番号 913.6S24.1-)



一です。建物の地下1階に続く所に、コンベア式の搬入口があり、そのうえ出入口にはテレビカメラが備え付けられ、事務室からドアの開閉ができるようになっていきます。

総工費11億5千万円、1年3カ月を費して完成

した九州産業大学の新図書館は規模、設備、あらゆる面において、大学の教育、研究に対する意欲と事務の能率化を備えていると感じました。実際動き出すのは4月からだそうです、今後の活躍が期待されます。(受入係)

館員雑記

荒川 勇

板谷 茂代

私が受入業務を担当して早や1年4カ月が過ぎてしまった。まだ知識不足な点が多くて、十分にこの業務を遂行しているとは言えないが、自分の気づくところを思うままに述べてみたい。

私は主に洋書の購入受入れを担当しているが、この業務には、情報化時代と言われるだけに、さまざまな情報に積極的な姿勢を示し対処するだけの能力が必要とされていると思う。それには、多くのレファレンス・ブックに、又各書店の発行するカタログ等に熟知しておかなければならないということである。つまり、この業務は、図書を注文し、受入れるという単純作業ではなく、注文する前にさまざまな書誌的事項の検討を怠ると、ミスが生じるのである。

図書の購入においては、図書購入予算、先生方の購入希望図書、それに書店との関係などを考慮して注文受入れをしなければならないが、このことが、この業務の中核をなしている。しかし、予算の範囲は決まっているし、注文しても年度内には入荷がむずかしい図書も大分あって、予算の消化状況と図書の受入れ状況は必ずしも一致していない。

最近、学生の図書購入希望が多くなっているが、非常に好ましいことであると思う。

今後、この業務にもさまざまなケースが出てくると思うが、先生方、あるいは学生諸君の期待にそうべく努力していきたいと思っている。

(受入係)

図書館に来て目録のひき方がわからない人が、ままありますが、self studyのために資料の探索方法を身につけておくことは、最大限に図書館を利用するために、ぜひ必要なことです。そのためには大学で資料探索法を講義として、カリキュラムの中に入れてあげればと思わないでもありません。

文献を探すためには本学図書館を利用だけでなく、国立国会図書館や他大学図書館の所蔵目録から所蔵を確認し、館内閲覧、相互貸借あるいはコピーを利用することも一方法です。

卒業されてからでも図書館というのは、生涯教育のための開かれた場所ではないでしょうか。図書館利用の技術はぜひ大学生活の中で身につけていただきたい事の一つです。自分が求める情報、文献をいかに探しあてるか、そしてそれをどのように生かすか、それは明日の社会のための原動力になるかもしれないのです。自分の趣味から専門へと、何か事をするにしても情報探索の場、問題解決の調査の場として、図書館は多くの事を提供してくれます。卒論を書く時期になってやっと図書館に来たというのでは、とても損をしていると思えるのですが……。

(整理係)

☆ お知らせ・ニュース・NEWS ☆

<図書館委員会>

- 昭和53年10月27日 未返却図書と卒業証書について
 昭和53年11月30日 54年度図書館予算について
 昭和54年1月26日 総記部門その他について

<研修・出張>

- 専門図書館九州地区協議会
 第10回資料研修会 於・九州経済調査協会
 54. 2. 14 今永係長出席
- 53年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会
 福岡地区研究会(第3回) 於・福岡工業大学
 54. 2. 16 刀根司書長, 今永係長
 大熊, 篠崎司書補出席

<文献情報の発行>

- 研究者を対象とした資料紹介, 参考調査業務等の情報を提供するもので昨年より発行を開始。
 ○ №2 53. 11. 13 カレント・コンテンツの紹介
 ○ №3 54. 3. 5 政府刊行物の調査資料の紹介

<在庫調査の実施>

3月9日から16日まで, 本館所蔵の約30万冊の図書全部について, 1冊1冊在庫の確認をした。この間利用者のみなさまにはご迷惑をおかけしました。

閲覧係より

「お早うございます」開館時間を待ちかねたようにH君の元気な声がひびきわたる。どこの図書館にもいるいわゆる常連の一人である。彼等は国家試験その他の目的のために目をいきいきと輝かせながら毎日通ってくる。その姿になにかすがすがしさを感じながら1日のスタートをするのである。図書館には教養書, 専門書, 雑誌, 新聞その他さまざまな図書・資料がある。一方利用する方もいろいろな学生が入館してくる。始めての人は何となくゴコチなく, 声高く話したり, あるいは書架での選択の際一度引っ張り出した本をとんでもない場所に突込んだりする。ところが数回続けて利用するうちにいつの間にか館内の雰囲気にと

告知板

○春休み中の開館予定

2月8日(木)～4月10日(火)の春休み中も, 次の場合を除き平常通り9時～21時開館します。但し学習室は閉室します。

2月9日(金)～2月13日(火)は入学試験のため閉館。

3月9日(金)～3月16日(金)は在庫調査のため2階以上の閲覧室を閉室し, 学習室(1階)のみ開室します。なお貸出図書の返却は受け付けます。

○春休み長期貸出

1月29日(月)～4月23日(月)
 (但し, 卒業予定者は2月末日まで)

対象および冊数	学部学生 } 5冊以内
	専攻科生 } 5冊以内
	留学生別科生 10冊以内
	大学院生 20冊以内

○卒業後の図書館利用の手続き

本学卒業生は, 社会に出てからも職務上の研究・調査など, あるいは自己の教養・知識向上のため本学図書館を利用することができます。利用希望者は特別利用者規則に従ってご利用ください。

特別利用者証発行については次のものを提出しなければなりません。

- | | |
|-----------------|------|
| ① 特別利用許可願(本館備付) | 1通 |
| ② 卒業証明書 | 1通 |
| ③ 証明書用写真(3×4cm) | 1葉 |
| ④ 印鑑 | |
| ⑤ 手数料金(1カ月) | 100円 |

※ 入館, 貸出手続きは在学中と変わりませんが, 貸出冊数および期間は年間(休暇中も含め)を通じて3冊, 11日以内です。

け込み, 人格的にも立派に見えてくるから不思議である。書になじむことがこれほどの効果をもたらすのである。試験期など利用者が1日延べ1000人を超えることもめづらしくないが, カウンターの係の私にとって毎日一人でも多く利用があることを念じずにはいられない。〔倉光〕

昭和51年10月～昭和54年1月（アルファベット順）

- 安部 薫氏より
詩集 鎖された花びら
愛知大学法経学会より
愛知大学三十周年記念論文集 法政篇 他2冊
愛知学院より
愛知学院百年史 他2冊
愛知県勤労会館より
労働関係文献索引 1976年版・1977年版
赤坂印刷より
福岡県教育百年史 第2巻
秋吉台科学博物館より
秋吉台科学博物館報告 第12号
アメリカ文学の会より
アメリカ文学 1977
青森県統計課より
市町村民所得推計結果報告書 昭和45年度
青野太潮氏より
新約聖書外典
青山学院より
青山学院大学図書館蔵書目録 和漢書2
アラビア石油より
大発見
有住義一氏より
見せ金登記論
朝日生命厚生事業団より
児童健全育成の理論
オーストラリア大使館より
文化誌 世界の国 23 オーストラリア
梅光女学院より
文学における笑い
防衛庁より
防衛年鑑 1977年版 他4冊
母子保健事業団より
母子栄養指導
カナダ大使館より
カナダ経済入門 他2冊
千葉商科大学より
創立50周年誌
千木良清氏より
諸子百家と探る人間論
地質調査所より
地質文献目録 1956—1960 (地域別)
朝鮮国立中央図書館より
キム・イルソン 他17冊
中国事情研究会より
毛沢東なきあとの中国
中央大学より
中央大学九十周年記念論文集 法・経・商・文
中小企業調査協会より
中小企業の存立要因に関する調査分析 他1冊
中小企業退職金共済事業団より
第18回事業年報
グリーン ジャパン センターより
懸賞論文入選作品集 昭和52年度
大学婦人協会より
高等教育を受けた婦人の意識に関する調査
大学基準協会より
大学一覧 昭和50年度・昭和52年度
大都市統計協議会より
大都市比較統計年表 昭和49年
大和証券投資信託販売より
販売面からみた欧米の投信事情
独協大学より
創立十周年記念論文集
江上 清氏より
弓道師弟問答
愛媛大学より
愛媛大学法文学部創立五周年記念論集
フィンランド大使館より
フィンランド
福田 殖氏より
陸象山文集
福本保信氏より
歴史学研究 11
福岡銀行より
中原嘉左右日記 11・12
福岡韓国教育センターより
北韓の国連政策
福岡県より
福岡県統計年鑑 昭和51年 他46冊
福岡県経営者協会より
福岡県経営者協会三十年の歩み
福岡県スモンの会より
ひとりで歩きたい
福岡市より
福岡市史 第8巻 他15冊
福岡市立歴史資料館より
野村望東尼遺品図録
福岡市私立幼稚園連盟より
こどものうた

- 福岡商工会議所より
福岡市のモデル賃金 昭和51年度 他5冊
- 福岡都市圏広域行政推進協議会より
福岡都市圏広域行政計画 1978
- 福岡通商産業局より
九州地域の産業構造ビジョン
- 福岡ユネスコ協会より
国際シンポジウム 戦後の日本 他1冊
- 福島県より
福島県勢要覧 昭和52年版
- 船越栄一氏より
模範六法 昭和54年版 他5冊
- 古川卓萬氏より
財政危機
- 釜山大学校より
釜山大学校論文集 人文・社会科学篇 23 他9冊
- 外務省より
わが外交の近況 昭和53年版 他7冊
- 学習院より
戦後日本の政策目標の評価 他1冊
- 後藤泰二氏より
保険経済概論 2部
- グレース、アルマ氏より
保育のための文学 他2冊
- 八戸市立図書館より
八戸市立図書館漢籍分類目録
- 白鶴酒造より
白鶴二百三十年の歩み
- 原田 茜氏より
能の絵本 他7冊
- 橋本静子氏より
高群逸枝 他2冊
- 波多江宗平氏より
鹿島守之助経営論選集 全15巻
- 林 潔氏より
青年期の心理と学生相談の展開 他3冊
- 肥後銀行より
肥後銀行50年史
- 比治山女子短期大学より
比治山女子短期大学十年の歩み
- 平井泰太郎先生追悼記念事業会より
種を播く人
- 平野 正氏より
中国革命の知識人
- 平田正敏氏より
財務分析のシュミレーション
- 広島大学より
代理理論の基礎的研究
- 一橋大学より
一橋大学附属図書館史 他4冊
- 北海道より
北海道統計書 第84回 昭和52年 他3冊
- 北海道大学より
写真集 北大百年
- 北海道漁業協同組合連合会より
日本人のための昆布の本
- 北海学園大学より
法学政治学の課題
- 法務省より
法律関係雑誌記事索引 第14号 他8冊
- 北方領土問題対策協会より
北方領土 ソ連の言説に対するわが方の反論
- 放送文化基金より
研究報告 No. 2 他3冊
- 兵庫県ゴム工業協同組合より
兵庫ゴム工業史
- 井田雄平氏より
リカード全集 全10巻 他1冊
- 井上 忠氏より
済民草書 全5巻 他1冊
- 石井記念友愛社より
石井十次日誌 明治四十年 他2冊
- 石井康一氏より
ヴァージニア・ウルフの世界
- 石川重俊氏より
縛を解かれたプロミューサー
- 石川鐵彌氏より
一化学者の追憶 他3冊
- 板谷茂代氏より
武蔵野の散歩みち 他12冊
- 糸島郡農業協同組合史編纂室より
糸島郡農業協同組合史
- 糸園辰雄氏より
日本の社外工制度 4部
- 自由民主党本部より
サンケイ・日共言論裁判
- 十八銀行百年史編集委員会より
百年の歩み
- カゴメ株式会社より
カゴメ八十年史
- 鹿児島県上屋久町より
高天原
- 鹿児島県立短期大学より
沖縄の財政問題と地方自治
- 会計検査院より
国の決算と検査 昭和52年版 他1冊

- 神奈川県より
県民所得推計報告 昭和46年度
金井為一郎著作集刊行会より
金井為一郎著作集 第1～3巻
兼松江商より
兼松江商羊毛年報 第46号 他1冊
花王石鯨より
花王石鯨五十年史 復刻版
関西大学より
シナ・インド物語 他6冊
関西外国語大学より
学園創立30周年記念論文集 1977
関西経済連合会より
関経連三十年の歩み
関西学院より
関西学院青年会記録
春日顕彰会より
春日大社建築史論 他3冊
片桐きよ氏より
降交点の頂に起きた大地震の話
川上宏二郎氏より
医と法 第1集 他3冊
川島彪秀氏より
現代英語スピーチ・コミュニケーション概論 他2冊
河島幸夫氏より
ワイマール共和国の政治思想
川上太郎氏より
経済経営研究年報 第26号Ⅱ
霞山会より
中国近代化の諸問題
慶応義塾より
慶応義塾年鑑 昭和52年度 他2冊
経済法令研究会より
金融・商事判例 臨時増刊号 創刊号～500号 総索引
経済企画庁より
国民生活白書 昭和53年度 他7冊
経済企画協会より
国民経済計算調査会議事録 他3冊
健康保険組合連合会より
ヨーロッパの社会保障法 他2冊
建設省より
海岸統計 昭和52年度版 他1冊
木村元一氏より
財政学研究
近畿大学より
近畿大学研究業績総覧 第9巻
金融経済研究所より
物価史 第1巻
- キリスト教学校教育同盟より
日本キリスト教教育史 人物篇
北九州市より
北九州市年表 2 他7冊
洪祖顛氏より
儒家教育思想の研究
神戸大学より
現代情報システムの研究
神戸市外国語大学より
Shakespeare ノート (史劇)
公営企業金融公庫より
公営企業金融公庫20年史 他1冊
工業技術院地質調査所より
地質文献目録 1971 他1冊
小樋井滋氏より
愛と存在
小池辰雄著作刊行会より
小池辰雄著作集 第1巻
国語審議会より
新漢字表試案
国民文化研究会より
明治天皇御集研究 他1冊
国立大学一般教育担当部局協議会より
国立大学一般教育責任体制に関する調査検討報告書3
国立国会図書館より
邦文法律雑誌総合目録 1978 他8冊
国立公文書館より
公文録目録 第一 他2冊
国立国語研究所より
電子計算機による国語研究 9 他6冊
国立民族学博物館より
国立民族学博物館研究報告 第3巻2号 他8冊
国際電信電話より
電話百年史 他5冊
国際交流基金より
教科書解題 他2冊
国際協力を考える会より
韓国近代化の指導理念
国税庁より
事務年報 第26回 昭和51年度 他2冊
公共企業体等労働委員会事務局より
公共企業体等労働委員会年報 昭和52年版
郡山女子大学より
郡山開成学園創立三十周年記念論文集
鋼材倶楽部より
鉄鋼二次製品年鑑 昭和53年版 他1冊
久保節男氏より
北原白秋研究ノート 1

- 熊谷組より
株式会社熊谷組四十年史
- 熊本国税局より
熊本国税局統計書 昭和51年度 他1冊
- 熊本市より
市民所得統計 昭和51年度 他1冊
- 熊本商科大学より
流通の独占化と熊本の中小商業 他4冊
- 国立音楽大学より
創立五十周年記念論文集
- 黒瀬 保氏より
中世ヨーロッパ写本における運命の女神図像集
- 久留米大学より
創立二十五周年記念論文集
- 共立女子大学より
文芸と自然(文芸学部創設二十周年記念論集)
- 京都府より
京都府統計書 昭和52年 他1冊
- 京都外国語大学より
日本における外国語教育の既往と将来
- 京都桃山ライオンズクラブより
桃 山
- 京都商工会議所より
京都府下における最近の賃金指標 昭和52年度
- 九州大学より
創立五十周年記念論文集 他1冊
- 九州電力より
新電気事業講座 全12巻
- 九州学院より
私の天路歷程
- 九州管区行政監察局より
九州管内地方行政機関等要覧 昭和52年度
- 九州歴史資料館より
九州歴史資料館研究論集 4 他2冊
- 待鳥又喜氏より
現代アメリカ文学序説
- 丸紅より
丸紅前史
- 松下電器産業より
実践経営哲学 他10冊
- 松下電工より
松下電工60年史
- 松山商科大学より
創立五十周年記念論文集
- 明治大学より
村落・報徳・地主制
- 明治学院より
明治学院百年史
- 明治製菓より
お菓子読本
- 三重県より
三重県勢要覧 昭和52年版 他1冊
- 三重県統計協会より
三重県統計書 昭和50年版
- 三上 操氏より
ORへのアプローチ
- 三菱商事より
時差は金なり
- 三好康之氏より
歴史の思想体系とその教訓 上・下巻
- モービル石油より
文楽の人びと
- 文部省より
国と地方の文教予算 昭和52年度 他2冊
- 百田みち子氏より
東西女流文芸サロン
- 門司秀子氏より
おばあさんの童話
- 森 泰男氏より
現代神学の状況
- 森本 轟氏より
中世末期の教会領研究
- 森島省三氏より
世界のエネルギー戦略 他7冊
- 村井 順氏より
日本よ何処へゆく
- 村上寅次氏より
アメリカ人 上・下 他7冊
- 名古屋大学より
名古屋大学文学部 二十周年記念論集 他3冊
- 内閣総理大臣官房広報室より
各省庁広報予定事項 昭和52年度
- 中村貞二氏より
マイネッケ研究
- 中村義男氏より
すかたん談義
- 中沢慶之助氏より
経済学論攻 第3巻
- 難波利夫氏より
日本におけるロバート・バーンズ書誌 他1冊
- 日本弁護士連合会より
体験者が語る代用監獄の実態 他2冊
- 日本大学より
創立70周年記念論文集 他2冊
- 日本英文学会より
日本英文学会五十年小史

- 日本学術会議事務局より
1977年度開催 学術関係国際会議一覧 第1集
- 日本銀行より
OECD金融統計の解説 他5冊
- 日本ゲーテ協会より
ゲーテ年鑑 第19巻 他1冊
- 日本保育協会より
全国社会福祉施設名簿 他15冊
- 日本放送協会福岡放送局より
NHK年鑑 1978 他4冊
- 日本イエス・キリスト教団 荻窪栄光教会より
進み行く韓国のリバイバル 他1冊
- 日本女子大学より
大原恭子先生記念 英米文学論集
- 日本海事広報協会より
日本の港湾 1977 他1冊
- 日本基督教学会より
日本の神学 17 他6冊
- 日本共同証券財団より
日本共同証券株式会社社史
- 日本興業銀行より
鉱業抵当法
- 日本広報協会より
第80回国会における福田総理の施政方針演説
- 日本国有鉄道より
日本国有鉄道監査報告書 昭和52年度 他2冊
- 日本公認会計士協会より
公認会計士制度二十五年史 本巻・別巻
- 日本民主同志会本部より
狙われた日本 他1冊
- 日本生命保険より
保険年鑑 昭和51年度 他1冊
- 日本石油より
石油便覧 1977 他3冊
- 日本専売公社より
たばこ専売史 第5巻
- 日本シェル出版より
天皇の使徒
- 日本私学教育研究所より
日本私学教育研究所調査資料 第46~59号 他10冊
- 日本私立大学連盟より
私立大学の相互協力と自己点検 他3冊
- 日本証券業協会より
体系証券辞典 他8冊
- 日本証券経済研究所より
株式投資収益率 1977 他4冊
- 西原忠毅氏より
現代英語の語句構成、散文、諺における押韻の研究
- 西日本新聞社より
西日本新聞百年史
- 西日本鉄道より
西日本鉄道七十年史
- 西尾陽太郎氏より
李容九小伝
- 二松学舎より
二松学舎百年史
- 日中貿易調査会より
中国貿易要覧 1977年版
- 農業総合研究所より
本間家土地文書 第1~3巻 他6冊
- 野村貞治氏より
藤原鎌足 他1冊
- 農林省より
農業構造動態統計報告書 他7冊
- 大分大学より
大野川
- 追手門学院大学より
創立十周年記念論集 文学部篇 経済学部篇
- 王子隣保館保育園より
激動とともに
- 岡本庄三郎氏より
英語発達史
- 沖縄関係資料室より
日本太陽崇拜史
- 大蔵省より
予算の話 昭和53年度 他5冊
- 大阪弁護士会より
法裁判・弁護士
- 大阪府中小企業団体中央会より 大阪府における
中小企業労働事情実態調査結果報告書 昭和52年度
- 大阪府立中之島図書館より
大坂本屋仲間記録 第3巻
- 大阪府立産業能率研究所より
大阪府立産業能率研究所「年報」 昭和52年度版
- 大阪三品取引所より
繊維価格とヘッジング
- 大阪市より
大阪市統計書 第65回 昭和52年版 他1冊
- 大阪市立大学より
現代労働問題の諸断面 他2冊
- 大阪証券取引所より
大阪証券取引所統計年報 昭和52年 他5冊
- 大浦義三氏より
回天
- 立正大学より
酒井三郎博士喜寿記念 世界史研究論叢

- 留學生教育方法検討委員会より
留學生の教育研究指導に関する調査
琉球大学より
琉球列島の地質学研究 第1巻
エスピー食品より
香辛料 3・4 各2部
佐渡谷重信氏より
日本近代文学の成立 上・下
最高裁判所図書館より
邦文法律雑誌記事索引 第19～21号
埼玉県地方労働委員会より
埼玉県地方労働委員会三年誌 昭和50～52年
齊藤末弘氏より
イスラエル予言者の職務と文学 他33冊
堺 太郎氏より
心身障害児教育論文集 第3巻 他2冊
坂元 邁氏より
21世紀への解答
三和銀行より
鴻池両替店の家訓 他1冊
沢登佳人氏より
刑事法における人間の虚像と実像 他1冊
澤山宗海氏より
日本拳法
盛 毓度氏より
新・漢民族から大和民族へ
製粉振興会より
小麦から小麦粉へ
政府資料等普及調査会より
官庁資料要覧 1975
成城大学より
変革期の資本主義 他1冊
生命保険文化センターより
生命保険に関する全国調査
生命保険協会より
生命保険事業概況 昭和52年度 他3冊
西洋史研究会より
西洋史研究 新輯 第1～4号
世界銀行 第二世銀 東京事務所より
世界銀行 その財務面の一考察 他3冊
世界経済情報サービスより
中南米の経済統合の現状と展望
関谷定夫氏より
旧約聖書の世界
専修大学より
現代保険学の諸問題 他3冊
滋賀大学より
経済理論の基礎をなす仮説について
- 塩野義製薬より
シオノギ百年
白樫三四郎氏より
自己開発とソフトユニット 他3冊
白梅学園より
樋口愛子先生追悼録
資生堂より
おしゃれの文化史 2・3
指定都市事務局より
大都市制度史 資料編 1～3
静岡県立中央図書館より
静岡県郷土資料総合目録
商品市場研究会より
日英対訳 商品取引所論
商品取引PRセンターより
米英の商品定期市場
証券経済学会より
証券経済学会年報 創刊号・4～13号
証券投資信託協会より
証券投資信託年報 昭和52年版 他1冊
商工組合中央金庫より
商工組合中央金庫史 自昭47年度 至昭51年度 他3冊
食糧庁より
異動人口調査結果表 昭和52米穀年度 他2冊
昭和堂印刷出版より
島原半島方言集 複製版
創価学会より
立正安国論講義 他68冊
総理府より
総理府統計局図書館蔵書目録(和書の部) 著者名索引
末松 寿氏より
寓意の図像学
田口欽二氏より
神は日本を選んだ 4部
大韓民国大使館より
朴正熙大統領の年頭記者会見 他1冊
高木誠一郎氏より
智と法義の哲学 4部
高宮カトリック教会 ルカ神父より
福音書の世界
武市春男博士遺族より
東南アジア法の研究
拓殖大学より
ソビエト計画経済の構造と機能
天理教教会本部より
諸井慶徳著作集 1～8 他35冊
東北大学より
東北大学所蔵和漢書古典分類目録 和書上・中

- 東京電力より
坂東風物詩
- 東京証券取引所より
東京証券取引所 他2冊
- 東京都老人総合研究所より
東京都老人総合研究所年報 6 他7冊
- 東京都私立短期大学協会より
私立大学短期大学紀要類論文題目索引 1969
- 泊 勝美氏より
韓国上古史の争点 2部
- 東洋大学より
東洋大学図書館蔵書目録 第5巻 他7冊
- 東洋曹達工業より
社史四十年 東洋曹達
- トヨタ自動車工業より
文明にとって車とは 全3冊
- 鶴川女子短期大学より
幼稚園と保育園の新しい経営展開 他2冊
- 通商産業省より
昭和51年商業統計表 1-4 他9冊
- 和光大学より
アダム・スミスとその時代
- 早稲田大学より
東京専門学校 校則・学科配当資料 他2冊
- 和洋学園より
和洋学園八十年史
- 薬師寺志光先生米寿祝賀記念論集委員会より
民事法学の諸問題
- ヤマエ久野より
森 昭著作集 2-5
- 山口大学より
アメリカ貿易の歴史的傾向
- 山口銀行より
目でみる やまぎん 100年の歩み
- 山梨学院大学より
法経研究 第11巻
- 安田信託銀行より
安田信託銀行五十年史
- 安川電機製作所より
安川第五郎伝・別冊・遺稿と追想
- 横浜市立大学より
都市の経済構造と都市問題
- 読売新聞社より
読売新聞百年史 附資料・年表 他39冊
- 財政調査会より
予算の話 昭和51年度
- 全国学校法人幼稚園連合会より
全法幼研究集録 5 昭和51年度
- 全国保母養成協議会より
全国保母養成協議会 第17回研究大会 発表論文集
- 全国公平委員会連合会より
全国公平委員会連合会二十年史
- 全国農業組合中央会より
協同組合奨励研究報告 第2-3輯
- 全国社会福祉協議会より
保育所保育要領 改訂
- 全国信用金庫協会より
信用金庫25年史
- 全国商品取引員協会連合会より
米国商品先物市場発展史 他3冊
- 全国商品取引所連合会より
繭・生糸の流通・価格形成調査報告書
- 全日本アマチュア演劇協議会より
世界のアマチュア演劇 1969 他3冊
- オーストラリア文化広報課より
Australia; the land and its development.
- カナダ大使館より
Canada, 1976. 他1冊
- Cantelon, P. L. 氏より
A history of the American people. Vol. 1-2.
他31冊
- 大学婦人協会より
Japanese university women. Vol. 1-2. 他1冊
- フィンランド大使館より
60 years independent Finland.
- Foreign Mission Board Southern Baptist Convention. より
Partners for progress.
- 福岡ユネスコ協会より
Overseas japanese studies institutions and students.
- Graves, Alma氏より
Shakespeare and the romance tradition. 他69冊
- 井田雄平氏より
The Times atlas of China.
- 石橋氏より
A nation of nations.
- 関西学院大学より
Studies in the industrial economics.
- 川島彪秀氏より
Articulation and pronunciation.
- 慶応大学より
American literature in 1940's,
annual report 1975.

- 木下祝夫氏より
Kojiki; Aelteste japanische Reichsgeschichte.
Bd. 3.
国立国会図書館より
Union catalog of foreign books, 1975.
他2冊
国際交流基金より
Nihongo; first lessons in Kanji.
Kutler, S. I. 氏より
Privilege and creative destruction.
京都メキシコ名誉領事館より
Viaje de la comision astronomica Mexicana al
Japon.
Ministere de l'Education Nationale et de la
Culture Française. より
Le mouvement romantique en Belgique, 1815—
1850. Tom. 1—2. 他50冊
三井信託銀行より
The Euro-dollar market.
名古屋大学より
First preliminary report of African studies.
他1冊
National Tax Association. より
National Tax Association; proceedings of 57th
annual conference, 1964. 他1冊
日本科学協会より
Proceedings of the Tokyo International Sympo-
sium, April 4—7, 1977.
日本生命保険相互会社より
A comparative analysis of Japanese and Ame-
rican regulatory laws...
西原忠毅氏より
Structure and usage of Modern English idioms.
他4冊
西高辻信貞氏より
Dazaifu Tenman-Gu.
能登恵一氏より
Das Wunder der Sprache.
大蔵省より
An outline of Japanese taxes, 1973.
大森 衛氏より
A life of William Shakespeare.
大佛次郎記念会より
パリ・コミュニケーション 蔵書目録 (洋書)
関谷定夫氏より
Facts about Israel, 1969. 他3冊
創価学会より
The human revolution. Vol. 2. 他10冊
- 末松クレール氏より
Image et signification de l'Asie dans l'oeuvre
d'Andre Malraux.
田中輝男氏より
So hallow'd and so gracious is the time.
他1冊
早稲田大学より
An introduction to flow of funds accounting.
他1冊
輸出繊維統計協会より
Textile exports of Japan. 他4冊